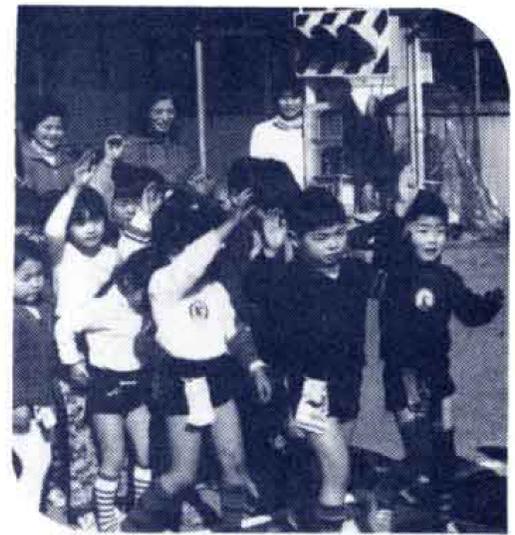


安全対策の基本—交通安全教育を

次に、第2の施策としては、交通安全教育がとり上げられています。

当市の交通事故による死者は、過去の最高を記録した昭和45年の56名をピークに第1次交通安全計画の強力な推進と徹底した車社会における交通安全教育の推進などによって年々減少してまいりました。しかし、昭和49年から再び上昇傾向に転じつつあるので、これを更に4分の1から0にするためには学校教育や社会教育の場を通じて継続的にとり上げていき、民間団体の育成強化や市民総ぐるみの交通安全運動により安全意識を高め、交通事故の減少傾向を定着化し

ていく必要があります。このためには、今後積極的なPR活動を続けていくとともに、幼児交通安全クラブ（リスさんクラブ）の充実強化や交通安全母の会の結成、地域や職域における交通安全会の組織結成の指導強化などもとり上げられています。



「リスさんクラブの充実強化をはかる」

市内の人身事故発生状況

年	発生件数	死者	傷者	46年を基準にした指数
46	1,372件	43人	1,772人	100%
47	1,048	31	1,330	76
48	881	37	1,093	64
49	923	28	1,103	67
50	967	28	1,185	70
計	5,191	167	6,483	

深刻化してきた被害者の救済対策

第3としては、交通事故被害者の救済対策推進が考えられております被害者の困窮はいまや大きな社会問

題となってきており、被害者や家族に深刻な影響をおよぼしている現状から被害者に対して救急体制の整備

や交通事故相談を通じて援護活動などを行っていく必要があります。このためには、救急搬送や無線連絡体制を確立し、救急医療施設の整備、更には交通事故相談活動の充実強化などを積極的に推進するほか、市民交通傷害保障制度の充実や交通遺児等に対する援助も必要とされます。現在、当市で行っている市民交通傷害保険の加入促進と福祉手当の支給を更に一步前進させて、遺児の自立、助長を図るための援助を充実することなどが内容となっています。

類型別事故発生状況

(昭和50年度)

種別 区分	種別				計
	人対車両	車両相互	車両単独	踏切	
全人身事故	276人	617人	73人	1人	967人
死者	9	13	6	0	28
負傷者	282	803	98	2	1,185

市民交通傷害保険に加入しましょう

ことし3月末現在、市内で発生した交通事故による人身事故は253件うち死亡者9人、負傷者は319人にのぼっています。いつあうかわからないこのような交通事故災害に備えて市民全員が交通傷害保険に加入しておきましょう。

市では、庁舎2階の市民課窓口でいつでも加入手続を受付けていますので、まだ、この保険に加入していない人は早めに加入しましょう。

掛金は年間1人360円です。

